

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成16年11月4日(2004.11.4)

【公表番号】特表2000-502578(P2000-502578A)

【公表日】平成12年3月7日(2000.3.7)

【出願番号】特願平9-524089

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 18/14

【F I】

A 6 1 B 17/39 3 1 7

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月1日(2003.12.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手続補正書

平成15年12月1日



特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第524089号

2. 補正をする者

名称 ガイラス・メディカル・リミテッド

3. 代理人

住所 名古屋市中区栄二丁目10番19号

名古屋商工会議所ビル内

氏名 (6434) 弁理士 岡田 英彦



4. 補正の対象

請求の範囲

5. 補正の内容

請求の範囲の記載を別紙のとおり補正します。



## 請求の範囲

1. 電気外科器具であって、  
無線周波数の電力を発生する発生器を含む第1のユニットと、  
電極アッセンブリを含み、該第1のユニットに取り外し可能に連結されて無線周波数の電力が電極アッセンブリに伝達されるようになっている第2のユニットとを備えており、  
該第2のユニットは、該電極アッセンブリの特性を示す値を有する識別コンデンサを備えており、  
該第1のユニットは、該第2のユニットが第1のユニットに接続された際に該コンデンサの該値を検出する検出手段を備えており、  
該発生器には該検出手段に応答して該電極アッセンブリの特性に適合するように発生器の出力を調節する調節手段を備えており、  
該検出手段は、該第2のユニットが該第1のユニットに接続された際に該識別コンデンサとともに共振回路を形成するインダクタンスを含んでおり、  
ここで該共振回路の共振周波数は前記コンデンサの値に依存している、電気外科器具。
2. 前記検出手段と前記識別コンデンサとが、作動周波数が該識別コンデンサの値に依存する発振器を形成する、請求項1に記載の電気外科器具。
3. 前記検出手段が、前記識別コンデンサの複数の異なる値に応答し、  
ここで前記調節手段が該検出手段および識別コンデンサ値の代表値によって与えられる出力信号に従って該発生器の出力を設定するコントローラを有する、請求項1もしくは2のいずれかに記載の電気外科器具。
4. 前記コントローラが、前記検出手段の出力信号に応じて、発生器の無線周波出力回路に供給される平均供給電圧を調節するように作動し得る、請求項3に記載の電気外科器具。
5. 前記発生器が、スイッチモード電源を有し、前記コントローラがこの電源に接続されて、前記検出手段からの出力信号に応じて切り換えられる出力のデューティサイクルを調節するように作動し得る、請求項4に記載の電気外科器具

具。

6. 前記第1のユニットが、発生器とコネクタと該発生器を該コネクタに接続するためのケーブルとを備え、

このケーブルは、識別コンデンサを検出手段に接続する導電体を含んでおり、前記第2のユニットが、第1のユニットのコネクタに接続するコネクタを含む電極アセンブリの形態である、請求項1から5のいずれかに記載の電気外科器具。

7. 前記第1のユニットのコネクタが、当該器具のハンドピースに組み込まれている、請求項6に記載の電気外科器具。

8. 前記調節手段が、組織蒸散のための発生器電圧リミットを設定する回路を有しており、ここで該リミットが識別された構成部分の特性に従って決定される、請求項1から7のいずれかに記載の電気外科器具。

9. 前記検出手段は前記第2のユニットが第1のユニットに接続されたときに前記識別コンデンサとインダクタンスとに共振を発生させる発振器を有し、該発振器は該コンデンサのDC分離が提供される変成器に連結する出力部を有する、請求項1の電気外科器具。

10. 複数の異なる電極アセンブリとともに使用するための電気外科用発生器であって、

該複数の電極アセンブリそれぞれは電極アセンブリごとの特性を示すそれぞれに異なる値を有する識別コンデンサをそれぞれ含んでおり、

ここで該発生器は、該コンデンサの値に応答する検出手段と、該発生器に接続される一つの選択された電極アセンブリの提示された特性に従って発生器の出力を自動的にセッティングする手段とを備えており、

その検出手段は、選択された電極アセンブリそれぞれの識別コンデンサとともに共振回路を形成するように設定されたインダクタンスを備えており、その共振回路の共振周波数はそれぞれのコンデンサの値に依存し

さらに該検出手段は、該セッティング手段に供給するための電氣的出力信号を発生するように作動し得、ここで該出力信号は共振周波数に依存し、従って選択された電極アセンブリのコンデンサの値に依存する、電気外科用発生器。

11. 前記自動セッティング手段が、少なくとも一つの発生器出力と最大ピーク出力電圧とを設定するように配置されたコントローラを備える、請求項10に記載の発生器。

12. 前記インダクタンスが発振器の一部を形成しており、ここで該発振器はその発振周波数が前記共振周波数であるように配置されている、請求項10または11に記載の発生器。

13. 前記検出手段は選択された電極アッセンブリの識別コンデンサと、発生器と電極アッセンブリとの組合わせの一部を形成するインダクタとに共振を発生させる発振器とを有しており、該発振器は前記識別コンデンサのDC分離を与える変成器に連結する出力部を有する、請求項10に記載の発生器。